



(第 35 図)

(32) 高山城石垣修築届出絵図 (第 35 図)

年代 金森時代 延宝 4 年 (1676)

寸法 131.2×74.0

所蔵 高山市教育委員会

この絵図は、延宝 3 年 8 月 12 日の大雨で石垣の被害があり、翌年 3 月 14 日に幕府へ提出した石垣修築届け図面である。金森 6 代頼峯の後見役である金森左京近供が提出した。

5 カ所の石垣が破損した。

1 カ所は 8 月 12 日の被害で、二之丸西方の土蔵である。付箋には「二ノ丸西ノ方北面土蔵之石垣表西貳間高貳間去年卯八月十二日夜大雨仕崩申候」とある。

2 カ所目は 9 月 10 日の被害で、南之出丸南東の石垣である。付箋には「本丸之内南之方出丸石垣南北四間高壹丈去年卯九月十日大雨ニ而崩申候」とある。

3 カ所目は本丸東拾間櫓下の石垣である。付箋には「本丸東之矢倉下石垣南北七間高三間半孕申候」とある。

4 カ所目は二之丸大門の北側に続く石垣である。付箋には「二丸西之方堀下石垣南北拾貳間高四間貳尺孕申候」とある。

5 カ所目は二之丸屋形北側の腰曲輪にある荷造り蔵北隅の石垣がはらんだ。付箋には「二丸北土蔵下角石垣西表北表三間ヅツ高四間ヅツ孕申候」とある。

また、図左上には書き入れがあり、「一、本丸之内南之方出丸石垣南北四間高壹丈去年卯九月十日大雨ニ而崩申候 一、本丸東之矢倉下石垣南北七間高三間半孕申候 一、二丸西之方北表土蔵之石垣東西貳間高貳間去年卯八月十二日之夜大雨仕崩申候 一、二丸西之方堀下石垣南北拾貳間高四間貳尺孕申候 一、二丸北ノ土蔵下角石垣之表三間高四間孕申候 右五箇所石垣破損仕候間如元築直シ申渡奉存候万助幼少ニ候故如斯御座候已上 延宝四年丙辰三月十四日 金森左京 (印判)」 とある。

この絵図からわかることは、①南の大手が異状に大きく描かれ、道幅が広い、②大手方面の災害があったので、寛

文3年の高山城絵図に比べ、描いた範囲が広いことである。本丸、二之丸、三之丸の建物姿はほぼ同じである。

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。